あ

おけ

めま

でし

とて

うご

ま

加薦え

入をる公

期公生と

待設児し

し消童て

て 防 委 は

まへへ今

すはの年

若自改

い薦選

力やを

の推迎

ぬの

臨 •

み市4

選民月

挙との

権し県

をて議

使い

し関市

ま心議

しを選

ょもは

うっ見

て民

い団員

民職

## 年頭所感

今着は、と増いて、

## ー 自治会活動を支える人たち –

黒石団地区自治会 区長 阪口隆利(文責)

のず強し会強お 風まはい楽昨 し悪なし台雨し年 さ天どた風にみをを候、。接見抽振 改を屋猛近舞選り 体国◆め想外暑にわ会返 定を実りま始と 7 心た内冷式しま た運わ雨中敬かり 止老らは

りてパ

はス新ペ

には

でのたの全バ加来ま大子開ウ自働のし 的もし強子方力「を出せ会ど催ィのの参てそ任市 にうょさど針をで強場んのもしン潮リ加いの意・ はひうをもの尽仲制がでソ会てな干サをまひ活県 老とか身た通く間し続しフ連いど狩イ始すと動・ 。にちりすがないたト合ま工りクめ、 会、今着は、と増いて。ボ会す夫、ル、区、体国で悠年け、毎いえ、い子l主。しお資 e 行子が組 す々にた叶週うる集まどル催そた泊源 | 事どあ織 がク期のわ練監こましも参のんイり物ク・もりを ラ待でな習督とった会加スなべ会回ラ市会ま持 六ブではいをコをたが発がポ中ンや収ブ行がすつ 十はすなが続ー信メ、足叶ー 「トハ、と事活。二 歳世。い故けチじン参以いツ市も口独共へ躍

展ひさビ

行每以 な月上 どのを で例加 親会入 睦と資 を食格 め会し 7 7 い目い ま帰ま すりす 。旅

開まさス希交一社活 ト **防** 助 しわやを望流定協動朝口犯成 てりか行す活条とを・「パ団 い倶ななる動件連続昼ルト体 ま楽社う高をの携け・セロも す**部会ひ**齢行ごしてタン **|** 頑 は奉ま者っ年たい方タル張◆深事と 独仕**わ**宅て配**く**ま・ <sup>|</sup> **隊**っ 自をりへいのぬす夜のはての畑ー取まれず。 間中 の標う配ま方ぎ の核自ま 活榜ン食す々サ 見と治す 。とロ 動すチサ 守し会 をるとし 共ン

てなどうま いくのブた る自自や よ治主黒ど う会活石ん にの動団ど 体◆思側グ地や◆ え面ル区保 ま支しも存 す。援プり会 をもあ 果さげe たり隊

しげなク

た予そ け に自ら告れ し治、 等ぞ て会各をれ み活代見の ま動表で団 せデ者、 んビに関の かユ問心発 しいが行 の合あす きわりる つせま行

かてし事

方ま告 向すや区検マの一広 。課報索ホ情ジ報 信い題は閲・報を委 をずの年覧パを開員 目れ進4しソお設会 し会な発みンえ適は て員ど行てをし時自 いとをしくおて更治 ま役おてだ持い新会 す員伝行さちましホ 。のえ事いのすてし 双し報

い各制 4 承期 た班は区名認をさ だ内と長が人迎て く会つ・任事え 議て副期のま来 し季 とでい区2 に適ま長年区たの◆指も捗回てコ伝しで◆援ンる 役 な任せはを長 り者ん公迎・2員 。 。 募え**三**年を まを す推ま制ま副前決 薦ずやす区のめ <sup>^</sup> **長**総る しは輪 の会時 番

`申多組 の行民 協事館 力部主 ら代

ご自そく人始最 支治し感部め後 援会て謝の、 を活 お動新しく長会 行高選◆願に元あの・計 い対号げ皆班長 いしとまさ長 たてなす。ことに しもる ま変新 すわ時

深婦を

災得市 活へが 動チ養 をヤ成 支レす レジー てし防 くて災 だ積土 さ極

防習

- 営資 に格

。方